

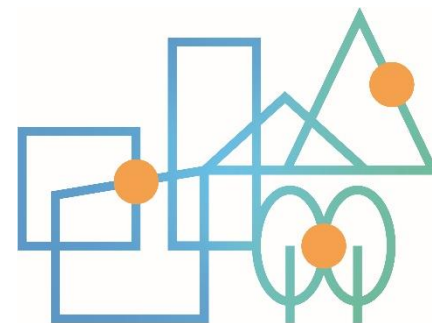
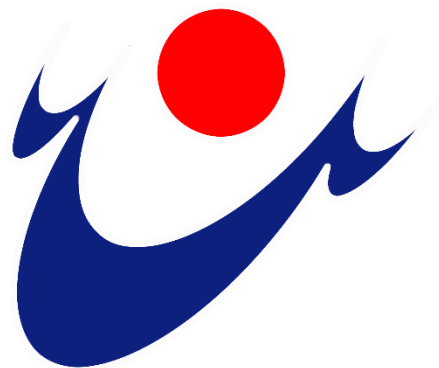
日置市における脱炭素の取組

「地域資源を活用したレジリエントなエネルギー・経済循環の実現に向けた勉強会」 説明資料

令和8年4月28日
日置市長 永山 由高



© 日置市ひお吉くん



脱炭素先行地域



📍 基本的情報

- **人口:** 45,365人(令和8年3月推計)
- **位置:** 鹿児島市に隣接。
- **アクセス:** 鹿児島市から車・電車で約20分
鹿児島空港から車で約1時間。
- **面積:** 253.1km²



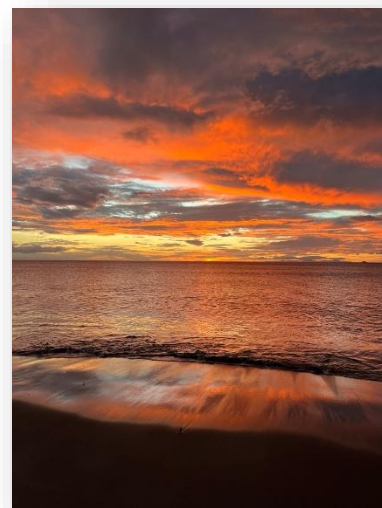
🏛️ 歴史・文化

- **戦国島津ゆかりの地:**
島津義弘公の出身地。
鹿児島三大行事の一つである「妙円寺参り」など、勇猛果敢な「敵中突破」の歴史が息づく。
- **伝統工芸:**
美山には、世界に誇る「薩摩焼」の窯元が集まる。



🌿 自然・観光資源

- **吹上浜:**
日本三大砂丘の一つ。約47kmにわたる白砂青松が広がり、東シナ海に沈む夕日も絶景。ウミガメの産卵地でもある。
- **温泉:**
湯之元温泉・吹上温泉など、生活に溶け込んだ癒しの空間。優れた泉質の温泉が湧きだす。



🍴 産業・特産品

- **食の宝庫:**
月日貝、オリーブ、本格焼酎、お茶、イチゴ、日置牛など、多種多様な味覚が楽しめる。
- **本社誘致:**
事務系職種の働き手確保のために本社誘致も推進しており、2021年からこれまで計12社が本社を日置市に移転。



日置市の課題～地域内経済循環～

- 鹿児島市に隣接する当市は、地域内経済循環率が**70.1%(2018年度)**と県内19市中17番目。その中でもエネルギー代金として**約69億円**が市外に流出している(令和8年4月24日確認時点)。
 - ・その対策として、再生可能エネルギーを活用した**エネルギーの地産地消**を推進している。
- 2023年3月に策定した「日置市2050脱炭素ビジョン」では、再生可能エネルギーを「**創る**」「**使う**」「**育てる**」の3つの柱を掲げており、脱炭素で稼げるまちを目指している。

日置市2050脱炭素ビジョン

(キャッチフレーズ)

多彩に暮らす、オール日置で脱炭素！

(目指す姿)

- 豊かな自然が続いている
- 日置市の資源・自然エネルギー（太陽・水・風など）を大切に使っている
- さまざまな技術で豊かな暮らし・趣味・仕事が続いている
- 賢く暮らしを楽しんでいる



脱炭素で地域の稼ぎを増やしましょう！
そのためには、できることから始めましょう。

再生可能
エネルギーを

使う

再生可能
エネルギーを

創る

日置市2050
脱炭素ビジョン
の**3本柱**

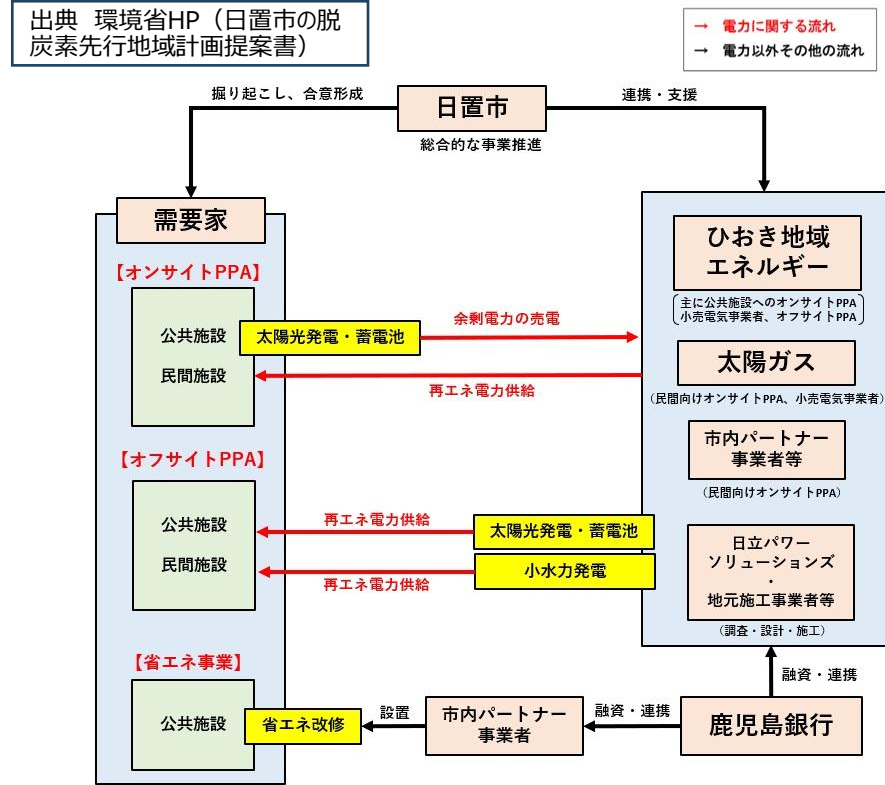
再生可能エネルギーで

育てる

日置市における脱炭素先行地域の全体概要



- 対象エリア: **吹上地域エリア**、徳重工業団地エリア、公共施設群
 - ・吹上地域は、日置市の中でも最も人口減少率が高い地域。
- 共同提案者: **ひおき地域エネルギー株式会社**、太陽ガス株式会社、株式会社鹿児島銀行
 - ・吹上地域での太陽光発電設備の設置については、地元事業者が組成したJVに対して発注するなど工夫している。
- 主な取組: 対象エリアでの**オンサイト太陽光発電設備(PPA)**及び**オフサイト太陽光発電設備**の設置、**小水力発電設備**の設置、吹上高校生や全国の地域新電力等への**人材育成講座**など



地域新電力会社(ひおき地域エネルギー(株))との連携



- 令和4年7月、脱炭素に向けて地域課題解決及び地域内経済循環の推進など様々な事項を包括的に協働することを目的として、「脱炭素に関する包括連携協定」を締結。
- 脱炭素先行地域についても共同提案者として主体的に取り組んでいる。
 - ・ 今回の脱炭素先行地域事業において設置する発電設備を自社電源として活用し、エネルギーの地産地消を通じて脱炭素先行地域を実現していく。



ひおき地域エネルギーの出資者



西 陽三

楠原 良人

脱炭素先行地域に伴う地域内企業への経済裨益



- 脱炭素先行地域採択前(令和4年度末)と比べると、ひおき地域エネルギーでは、令和7年度末時点で
 - 従業員数が3名から**8名**に増加(地域おこし協力隊を含む)。業務の内製化等により、収益を確保しながらノウハウを蓄積。
 - 契約件数が**約650件**増加、売上高が**約1.5億円**増加。
 - 自社電源として、オンサイト太陽光で**1,930kW**・オフサイト太陽光で**269kW**、蓄電池として**768kWh**を整備。
- レゾナック・オプトエレクトロニクス鹿児島では、昨年度、**600万円を超える光熱費の大幅な削減**を実現。
- 吹上地域のJVに対して、住宅・事業所等向けの太陽光発電設備の設置に累計**約1.5億円を発注**。
 - ある事業者では、前期(6月決算)の売上約2億円のうち、**約3,000万円**が脱炭素先行地域に関する売上であった。

太陽光発電設備を設置した工場



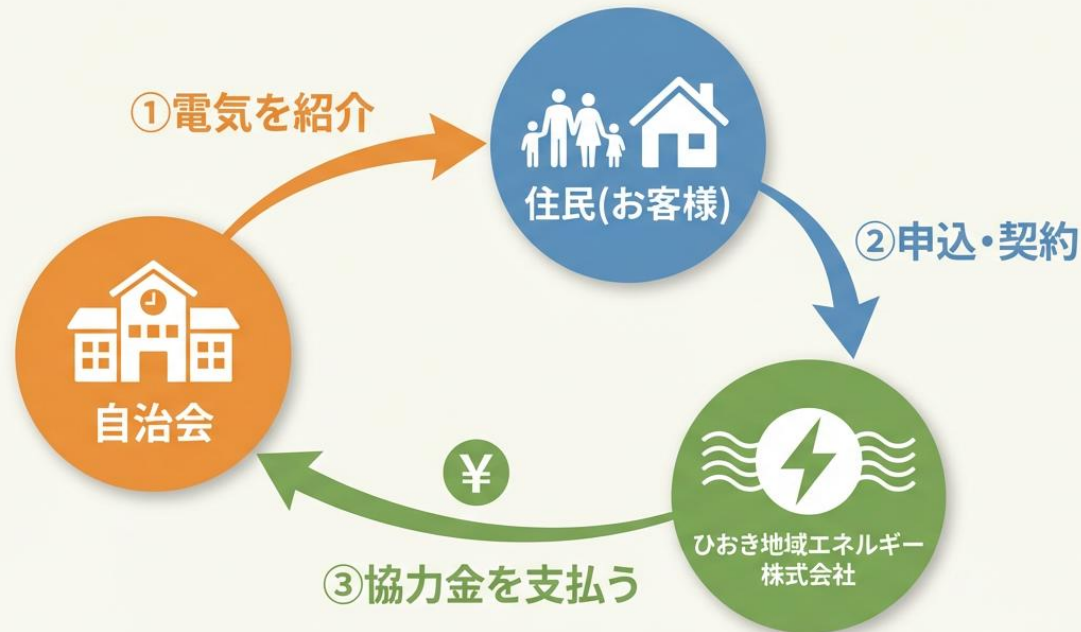
地元事業者による施工の様子



【参考】自治会との連携

- 脱炭素先行地域を通じて、地域脱炭素を進める上で自治会を巻き込んだ取組の重要性を認識。
- 人口減少に伴い運営が難しくなっている自治会を経済的に支えつつ、顧客を獲得する方策として、2つの取組を実施。
 - 自治会公民館プラン:自治会独自で運営する公民館の電気契約の基本料金を半額とする料金プラン。
 - つなぐ電力自治会サポート:自治会の紹介で電力契約を締結すると、協力金を自治会に支払う制度。
 - ✓ この取組については、脱炭素先行地域の吹上で取組を先行して実施した後、日置市内に横展開。

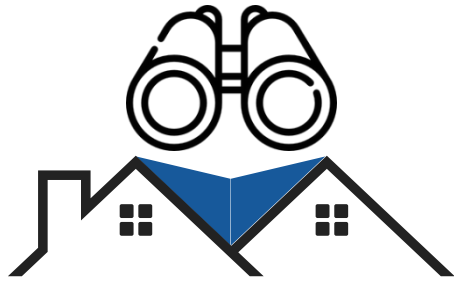
つなぐ電力自治会サポートの仕組み



【参考】脱炭素先行地域における太陽光パネル設置の営業：「西本町方式」



- 脱炭素先行地域で戸建住宅にパネルを設置するためには、**地域住民に当事者意識**を持っていただく必要があるが、住民説明会などで自分ごと化していただくのは困難。
- **自治会長などの協力**もいただきながら、ひおき地域エネルギーを中心に顧客発掘を進めている。
 - ・ 地域の方々にご理解いただき、行動変容していただくためには、**地道で息の長い活動**が必要。



1. 屋根の状態を目視で確認
簡易的にランク分けをして、設置
可能性のある住宅を抽出

2. 自治会長が先に一軒一軒を訪問
地域で信頼されている方が、事前に
PPAに興味がないか確認。その後、
ひおき地域エネルギーが詳細説明

3. 見積り・契約
興味を持たれた方の屋根の状況
を確認し、見積もり・契約

ポイント①：警戒されずに話を聞いてもらう

- ①自治会長との連携
- ②地元の事業者ネットワークを通じた紹介
- ③市役所との連携

ポイント②：「刺さる話」をする

- ◎経済的負担の軽減
- 災害時にも活用可能
- ×環境負荷の低減

→このほか、「〇〇さんがやっていたから…」といった、住民による口コミも重要！

吹上高校からの再エネ関連産業への就職

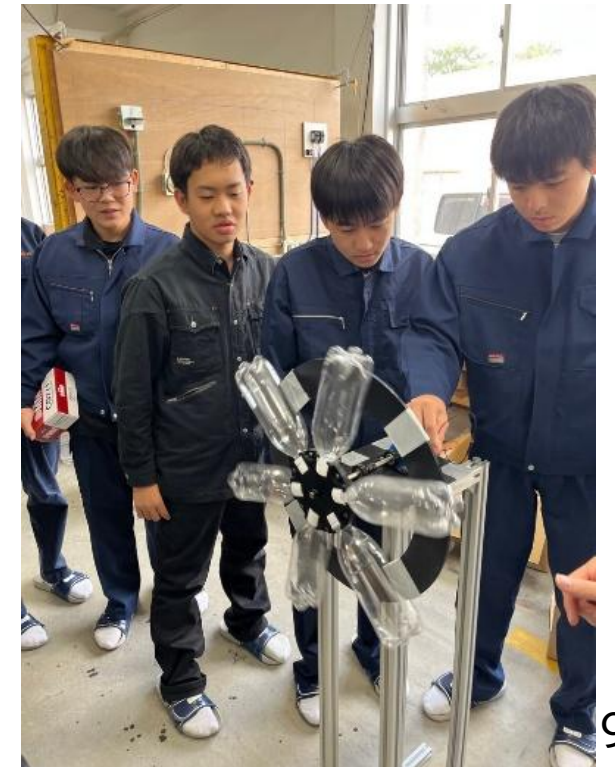


- 脱炭素先行地域の計画に基づき、県立吹上高校にて再エネに関連した人材育成講座を年8時間実施。
- 令和6年度の授業を受けた「第1期生」のうち1名が、今年4月、脱炭素先行地域でオフサイト太陽光の設置を1か所担当し、授業にも登壇した地域の事業者に就職。
 - 地元での就職を希望していたところ、本講座をきっかけに当該事業者を知り、高校で学んだことを活かせると考えて就職したとのこと。

令和6年度の授業の様子



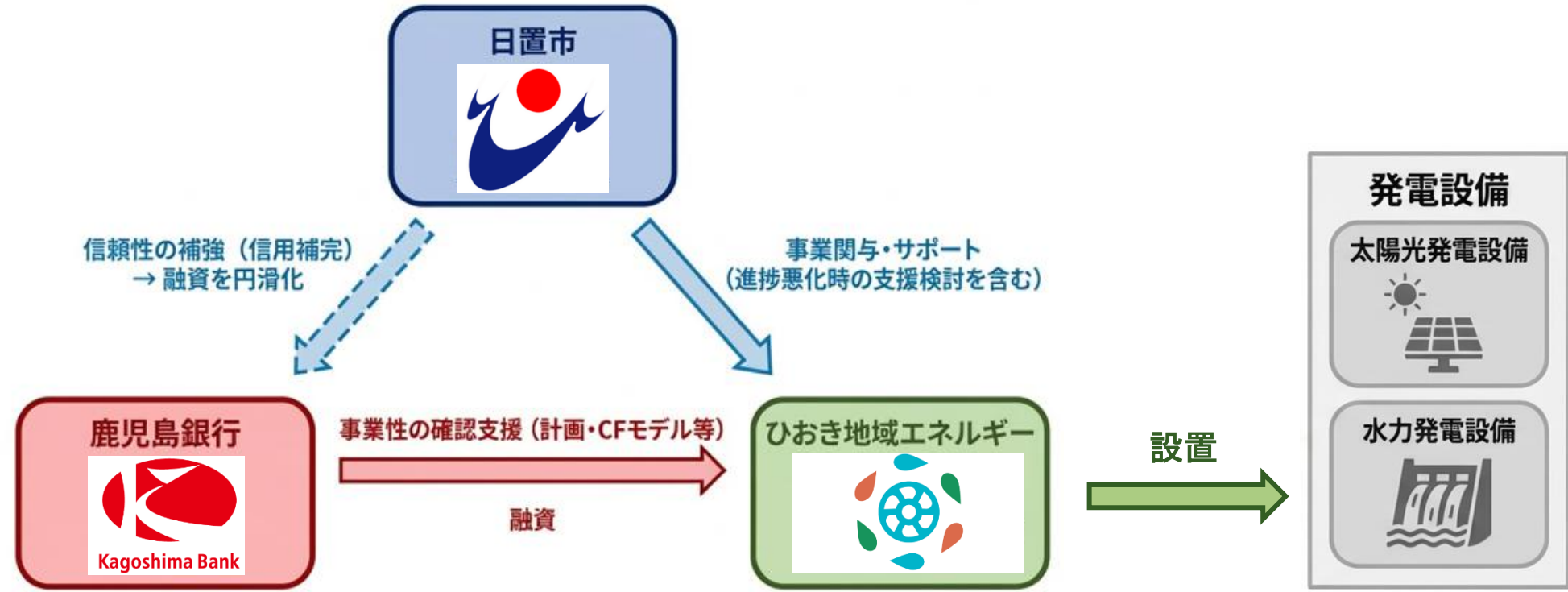
令和7年度の授業の様子



脱炭素先行地域における資金調達スキーム

- 脱炭素先行地域を着実に推進するためには、金融機関によるファイナンスが不可欠。
- 共同提案者の鹿児島銀行が、ひおき地域エネルギーに融資するにあたり、日置市を含めた3者によるサポートに関する契約を締結し、自治体関与による事業信頼性を確保した。
- また、脱炭素先行地域に携わることで、行内・特に日置市内の支店で脱炭素への理解が深まり、積極的に営業した結果、脱炭素関連の融資やビジネスマッチングなどが他の地域より多くなっているとのこと。

脱炭素先行地域づくり事業の円滑な実施に向けた日置市のサポートに関する契約

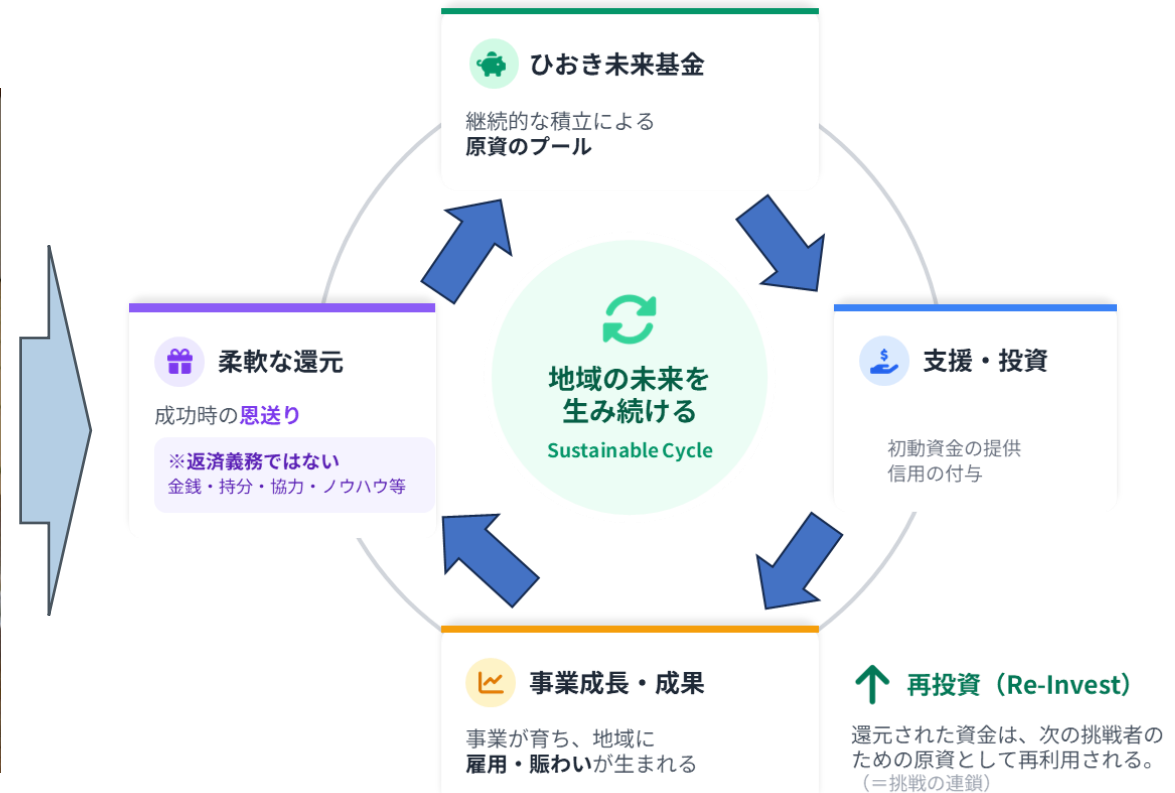


地域内経済循環強化の取組:ひおき未来基金



- ひおき地域エネルギーの売り上げの一部を積立て、地域の未来につながる事業に資金提供する仕組み。
 - ✓令和3年度にはマタニティボックス(新生児用品)配布事業、令和4年度には日置市への移住に関心のある方がお試し滞在できる住宅「カメハウス」の改修費用といった市の取り組みに資金提供いただいている。
 - ✓現時点で1,000万円程度が積み上がっている状況。
- 脱炭素先行地域の実施も踏まえ、今後はこの取り組みをさらに発展させるべく、資金供与の仕組みを明確にした上で対象をさらに広げ、主に**起業等の新たな挑戦に対して資金提供**する方針。

出典:ひおき地域エネルギーHP



- 日置市では産業政策として本社誘致を進めているが、その中で、脱炭素も含めた市の環境への取組や、豊かな自然環境を移転の理由として挙げてくださる経営者は少ない。
- 令和6年に本社機能を移転した小平株式会社は、新複合施設「猫狐馬ノ杜」の建設を、今月14日に発表。「養生」しあう循環をつくることを理念に掲げ、共感した5社が猫狐馬ノ杜に入居予定。
 - ・うち、株式会社ECOMMITは本社機能も移転する予定。

猫狐馬ノ杜プロジェクトのパーパス

出典:小平株式会社 報道発表資料

企業が、湯之元の地で人・自然・企業が互いを「養生」しあう循環をつくり、企業活動が湯之元の街をより美しく、文化的で、過ごしやすくする仕組みを実現する。

猫狐馬ノ杜 入居予定企業

ECOMMIT  Schoo

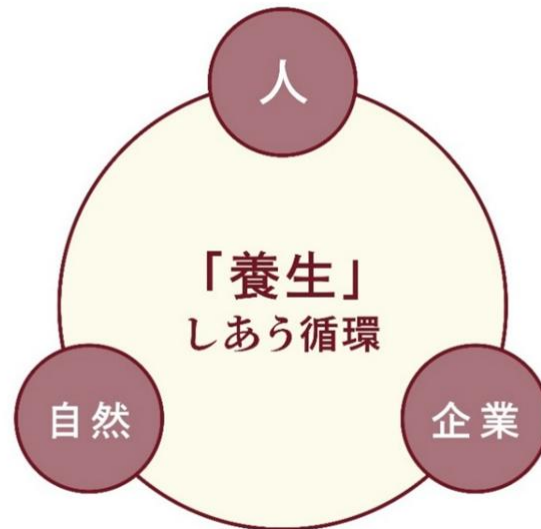
RE:PUBLIC  musuhi

ねこま鍼灸院

nekoma no PURPOSE

Planetary Health

人の健康は地球の健康と不可分



Well Being

企業が人の成長と健やかさを支え、人が企業を動かす

Nature Positive 企業活動が自然を再生する

*湯之元の養生の定義:

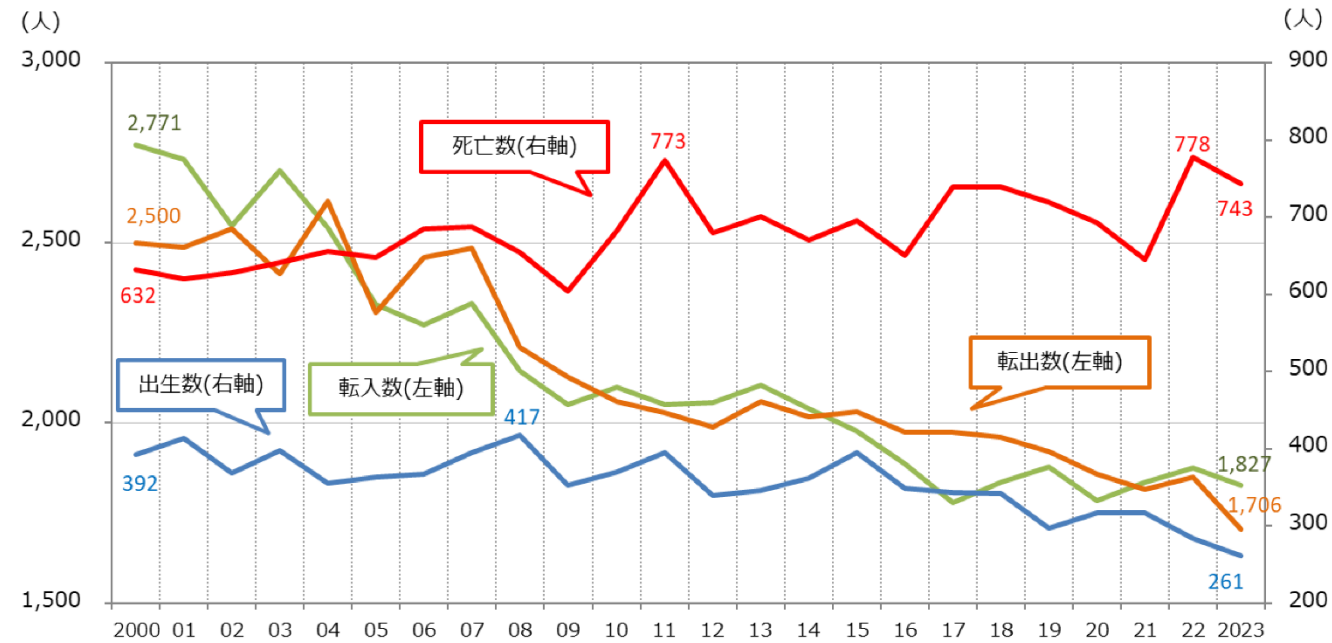
人・企業・自然がお互いを育む仕組みが街に組み込まれており、ただ暮らし、働き、時が過ぎるだけで養生され合う仕組みがある。

【参考】日置市の脱炭素等の取り組みの成果

- 脱炭素等をフックに本社機能の誘致を進めた結果、2021年からこれまでに12社の本社を誘致。
 - ・ エネルギー商社や資源循環商社を筆頭に、地域内経済循環といった市の理念に共感してくださる企業が多い。
 - ・ 移転していただいた企業の総売上高は100億円以上となる。
- 人口減少が進む中で、2023年には121名の社会増を実現。また、関係人口創出にも注力。
 - ・ 平成27年度以降、社会減が続いていたが、令和3年から令和5年にかけて社会増となっている。
 - ・ 関係人口の取り組みとして、公式ウェブメディア(LINE@)登録数が6年間で2万3000人を獲得。

表8 本市の転入・転出数、出生・死亡数の推移

出典：第3期 日置市人口ビジョン(令和7年4月)P9より抜粋



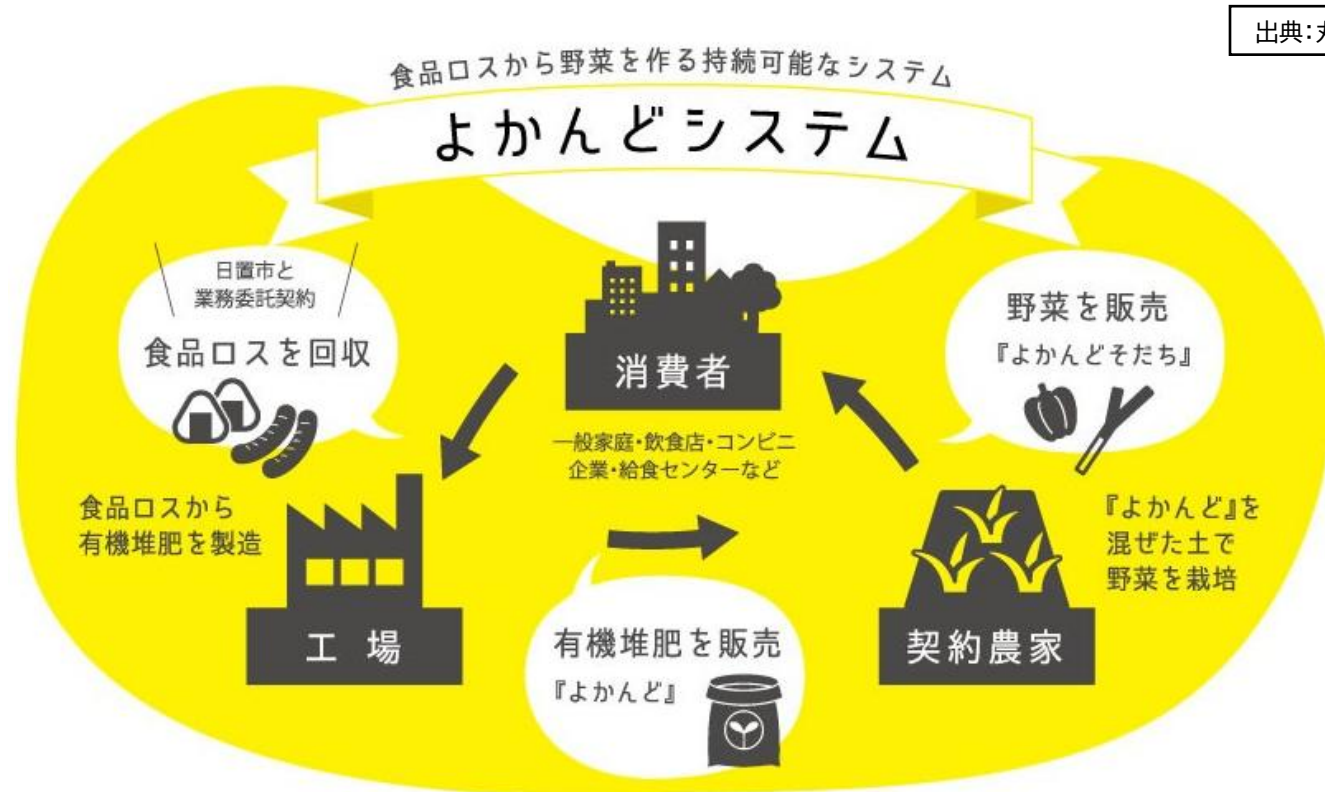
※転入・転出数は住民基本台帳人口移動報告、出生・死亡数は人口動態調査より

【参考】脱炭素以外の環境関連の取組

資源循環の取組①



- 日置市の廃棄物処理事業者「株式会社丸山喜之助商店」では、生ごみのたい肥化を通じた資源循環や、太陽光パネルのリサイクルなど、先進的な取組を行っている。
 - 生ごみリサイクルの仕組み「よかんどシステム」では、毎年約1,000トンの生ごみを回収しており、令和5年には循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰やグッドデザイン賞等を受けた。
- 令和7年10月に本稼働した「資源循環プラザ アクロスひおき」は、丸山喜之助商店のグループ会社が**民設民営**で整備運営。高性能な光学選別機の導入等で、廃棄物の高度な再資源化を実現している。



出典:丸山喜之助商店HP



資源循環の取組②



- 「猫狐馬ノ杜」に本社機能を移転予定の株式会社ECOMMITと連携し、衣類及び雑貨・おもちゃを回収するPASSTOボックスを市内30拠点に設置している。
- ・ 自治体としては九州初の取組で、これまでに累計約20トン进行回収。

出典:株式会社ECOMMIT HP



- ・ 回収日時／拠点／量
- ・ リユースリサイクル率
- ・ CO2排出削減量 等

ネイチャーポジティブの取組



- **小平株式会社**は、日置市の湯之元を舞台に、大企業・研究者・地域が「自然とともに豊かになる」経済を共創する、オープンな学びと実装の場「**湯之元ネイチャーポジティブ・ラボ**」を発足。
- 九州電力やJR九州、NTTドコモビジネスソリューションズ、野村総合研究所などが参加し、各社が**ネイチャーポジティブ**を軸とした**ビジネス**を考案。今後も継続案件を推進していく。

出典：小平株式会社報道発表資料



